

平成 23 年 12 月 20 日

各 位

会 社 名 あかつきフィナンシャルグループ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 工 藤 英 人  
(コード 8737 大証第2部)  
問合せ先 執行役員管理本部長兼総合企画室長兼財務経理部長 川中 雅浩  
(TEL 03-6821-0606)

## 当社子会社における経営合理化策の進捗状況に関するお知らせ

当社の子会社であるあかつき証券株式会社（以下、「あかつき証券」という。）におきましては、株式市況の低迷に対応すべく、債券及び投資信託の販売拡充による株式以外の収益の多様化を進める一方で、経営の合理化による損益分岐点の低下に取り組んでまいりました。

この合理化策の、本年度における現在までの進捗状況と今後の見通しについて、下記のとおりお知らせいたします。

以下の表に示しますように、対前年度比で、本年11月までに実施済みの施策により月間37.5百万円（年間換算で450百万円）、さらに今後本年度内に追加で実施予定の各種施策により月間14.5百万円（年間換算174百万円）程度の削減効果を見込んでおります。結果として、あかつき証券の営業費用として、前年度月額277百万円（平成23年3月期の月額平均値）が、来年度より前年比52百万円（年間換算624百万円）減少の、月額225百万円（年間換算27億円）程度まで削減できる見通しです。なお、賞与引当金月額13百万円を除外した場合の営業費用は月額212百万円になります。

合理化策	金額	備考
前期平均月額営業費用	277.0 百万円	平成 23 年 3 月期実績から算出
管理職報酬等の削減	△12.0 百万円	平成 23 年 4～9 月実施
希望退職実施による人件費削減	△23.0 百万円	平成 23 年 11 月実施
役員退職慰労金引当の停止	△2.5 百万円	平成 23 年 11 月実施
追加施策	△14.5 百万円	平成 23 年度内実施予定
合理化策推進後 営業費用見込額	225.0 百万円	平成 24 年度以降

対応する営業収益は、平成23年3月期平均で月額267百万円、本年度上期平均で月額219百万円であり、今回の合理化によって、市況の低迷が継続した場合でも、一定の収益性を保つことができる体制になると考えております。

以 上